

重量品パレットを用いた鉄道モーダルシフト

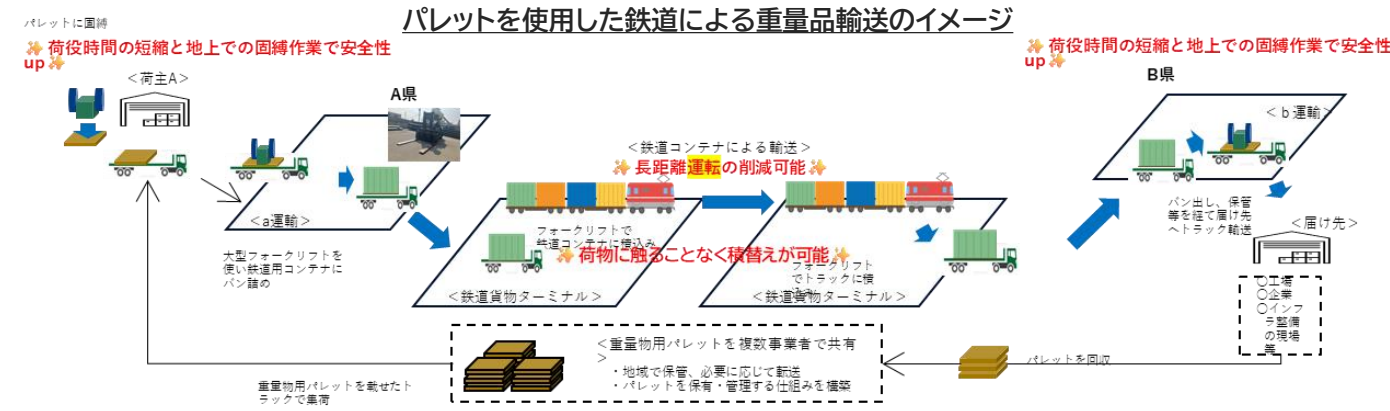
協議会名:重量品パレットによる鉄道モーダルシフト推進協議会

協議会構成員
株式会社東崎倉庫運輸、野々市運輸株式会社、古内運輸株式会社、三正運輸株式会社、日本貨物鉄道株式会社、日本ローカルネットワーク協同組合連合会、石川県

【事業実施背景】本事業の対象となる重量品は、長距離輸送の需要が一定程度ある一方、その大半をトラック輸送に依存している。そのため、主に①2024年の法改正や人口構造の変化に起因する将来的なトラックドライバー不足の深刻化による輸送力不足の顕在化、②貨物特性に起因するドライバーの荷役負担、③輸送に伴う環境負荷、が喫緊の課題となっている。本事業では、重量品のトラック輸送を鉄道輸送へモーダルシフトすることで、これらの課題解決に取り組む。

事業内容

Point 重量品(※)パレットを用いた鉄道モーダルシフトにより上記の課題解決に取り組む。昨年度実証運送でパレット開発と実際の輸送で安全性を確認。今年度は鉄道輸送に適した積替え拠点ネットワークの構築、パレット改良検討や、パレットの流通に向けたビジネスモデル検討等を行う。
(※)単一ロットで1トン～4トン程度、大きさは概ね2メートル×3メートル×2メートル(L×D×H)程度以下の貨物を指す



想定事業実施効果

- トラックによる運転従事時間(※): **80%削減**
- 運送によるCO2排出量(※): **40%削減**
- 荷役作業負担軽減:
 - パレット活用によりフォークリフトで重量品の荷役が可能に
 - 重量品輸送におけるトラックドライバーの荷役時の落下事故件数: **ゼロ**
- 地域産業振興(中長期的効果):
 - パレットを通じて多様な地域への重量品長距離輸送を安定して実現することで、**地域ものづくり産業、物流産業への波及効果**

(※)石川県～北海道での実証運送を想定した効果